

神経内科

北野病院神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。脳血管障害、急性意識障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、神経専門医が 24 時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。放射線科の協力により緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部 MRI が撮影できる体制にあり、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法 (t-PA 治療)も適応を厳密に判断した上で行い、血栓溶解療法が無効例に対しては引き続き血管内血栓除去療法も脳卒中センターとして施行している。またパーキンソン病、脊髄小脳変性症、重症筋無力症などの神経難病患者の受診数が関西で有数に多い施設であり、パーキンソン病については薬物療法に加え脳神経外科と共同で手術的治療 (定位脳手術: 視床下核脳深部刺激術など)を行い良好な成績を得ている。重症筋無力症については呼吸器外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行っており、周術期の薬物治療を神経内科が担当し良好な成績を得ている。さらに認知症の診断、てんかんの診断・治療、神経免疫疾患 (CIDP、自己免疫性脳炎など)に対する γ グロブリン療法など多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。教育啓蒙活動としては、毎冬に松本主任部長のビデオセミナーを開催している。医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究や京大 iPS 研究所との連携でパーキンソン病に対する細胞移植療法モデルを用いた神経科学的研究を行っている。

体制

主任部長

松本禎之

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、京都大学臨床教授 (神経内科学)、関西医科大学臨床教授 (神経内科学)、日本神経学会評議員、日本神経病理学会評議員、日本神経学会専門医・指導医

副部長

里井斉

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会認定医

副部長

斎木英資

専門: パーキンソン病、パーキンソン病の定位脳手術

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会認定医

副部長

梶 勇人

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医

副部長

小松研一

専門：神経内科全般、

資格等：日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医

副部長

中川朋一

専門：てんかん、神経内科全般

資格等：日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

レジデント 山本真義

資格等：日本内科学会認定医

レジデント 橋本泰昌

資格等：日本内科学会認定医

レジデント 孝橋睦生

資格等：日本内科学会認定医

レジデント 平藤哲也

レジデント 岡佑和

診療実績

	年間入院患者数	平均在院日数
パーキンソン病関連疾患	301	21.7
脳血管障害	259	17.5
てんかん	83	15.9
神経免疫疾患	64	22.2
中枢神経変性疾患	59	18.7
神経感染・炎症	39	39
末梢性神経障害	33	16.8
認知症疾患	29	24.1
神経腫瘍関連	18	13.6
その他の神経・筋疾患	92	13.4

(延外来患者数 17,534 人 延入院患者数 19,466 人)

研究課題

(研究実績)

学会・研究会発表、講演

- 1 H. Saiki and S. Matsumoto Recent result of indicative evaluation for deep brain stimulation of Parkinson's disease patients The Movement Disorder Society's the 20th International Congress 2016-6/19-23 (Berlin, Germany)
- 2 H. Saiki Improvement of cognitive function after the endpoint of DASH-PD study (donepezil application for severe hyposmic Parkinson disease), a case report 4th World Parkinson Congress 2016/8/20-23 (Portland, Oregon, USA)
- 3 H. Saiki Which is the better treatment in Advanced Parkinson's disease? Case presentation and discussion 16th Japan International PD & MD Symposium in Takamatsu Takamatsu, Japan 2017/2/17-19
- 4 服部信孝、齋木英資、市川 忠、前田哲也 パーキンソン病診察の世界標準を学ぶ —MDS-UPDRS— 第 57 回日本神経学会学術大会 日本神経学会第 13 回生涯教育セミナー「Hands-on」 2016/5/18
- 5 齋木英資 A study of relation between change of L-dopa response of gait ability and cognitive function in PD 第 57 回日本神経学会学術大会 2016/5/18
- 6 齋木英資 「薬物治療と刺激調整」 —その共通点と相違点を探る— 宮城県パーキンソン病治療セミナー 2016/6/3 (宮城)
- 7 齋木英資 パーキンソン病の外科治療 — なんのために？ 誰のために？— 第 7 回パーキンソン病市民公開講座 2016/6/4 (青森)
- 8 齋木英資 ここが知りたい！本音のパーキンソン病診療 第 10 回北摂臨床神経内科懇話会 2016/6/17
- 9 齋木英資 DBS はパーキンソン病治療に何をもたらしたか？ 第 4 回 PD Rising Star Symposium 2016/7/9
- 10 齋木英資 ここが知りたい！本音のパーキンソン病診療 DBS 治療は患者に何をもたらしたのか ハッピーフェイスセミナーin福山 2016/9/1 (福山)
- 11 齋木英資 ここが知りたい！本音のパーキンソン病診療 大阪パーキンソン病フォーラム 2016/9/15
- 12 齋木英資 「前臨床期診断時代」のパーキンソン病治療戦略について考える 第 57 回日本脳神経学会学術総会 ランチョンセミナー 1-7 2016/9/29
- 13 齋木英資 DBS の調整法 第 10 回パーキンソン病・運動障害疾患コングレス ハンズオンセミナー2 2016/10/8
- 14 齋木英資 DBS は患者に何をもたらしたか？ 第 46 回日本臨床神経生理学会学術大会 シンポジウム 1-5 2016/10/26
- 15 齋木英資 パーキンソン病の薬治療と手術治療 — 病気になっても人生を生き抜くために— 第 1 回北野病院パーキンソン病市民公開講座 2016/11/23

- 16 齋木英資 パーキンソン病の治療 ― 薬治療、外科治療― 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会 第2回 PD ナース研修会 2017/2/4
- 17 齋木英資 パーキンソン病のDBS治療 北野病院 DBS 教室 2017/2/25
- 18 齋木英資 北野病院でのパーキンソン病診療の取り組み ～診断から治療まで～ Q&A で知るパーキンソン病診療 京阪・神経内科セミナー 2017/3/23
- 19 橋本泰昌、小松研一、西田南海子、岩崎孝一、松本禎之 肩こり様症状から急性に麻痺を呈した頸椎硬膜外膿瘍の2例 第57回日本神経学会学術大会 2016/5/19 (神戸)
- 20 細木 聡、小松研一、里井 斉、岩崎孝一、松本禎之 放射線照射部位の遅発性血管狭窄により脳梗塞が生じた2例 第57回日本神経学会学術大会 2016/5/19 (神戸)
- 21 細木 聡、榑 勇人、松本禎之 眼痛を認めず、生検を施行した特発性眼窩炎症の一例 日本神経学会第105回近畿地方会 2016/7/2 (京都)
- 22 小松研一、松本禎之 発症の有痛性運動感覚障害を呈した C8 神経根神経鞘腫の1例 日本神経学会第106回近畿地方会 2016/11/19 (京都)
- 23 寺田祐太、榑 勇人、松本禎之 難治性の髄膜炎・脳室炎及び肝膿瘍を呈した血清型 K1 株 K. pneumoniae 感染の一例 日本神経学会第107回近畿地方会 2017/3/5 (大阪)
- 24 里井 斉 脳卒中 ～特に脳梗塞の最近の考え方、予防と治療について～ 北野病院市民医療講座 2016/6/4 (大阪)
- 25 榑 勇人、寺田祐太、松本禎之 緩徐進行性の小脳失調を呈した63歳女性 第129回大阪神経内科の集い 2016/7/6 (大阪)
- 26 小松研一、孝橋睦生、松本禎之 右背部痛と左顔面の発汗過多を呈した67歳女性 第130回大阪神経内科の集い 2016/11/2 (大阪)
- 27 小松研一、山本真義、松本禎之 慢性経過の頭痛を呈した25歳男性の一例 第131回大阪神経内科の集い 2017/2/1 (大阪)
- 28 榑 勇人、細木 聡、松本禎之 眼痛を認めず生検を施行した特発性眼窩炎症の一例 第51回亀山正邦記念神経懇話会 2016/6/25 (大阪)
- 29 寺田祐太、榑 勇人、松本禎之 MRI で小脳皮質に特徴的な造影効果を認め、傍腫瘍性小脳変性症が疑われた一例 第52回亀山正邦記念神経懇話会 2016/11/26 (京都)
- 30 細木 聡 放射線照射後遅発性に両側椎骨動脈狭窄と小脳梗塞をきたした1例 グランヴィア脳血管セミナー 2016/11 (大阪)
- 31 小松研一 多彩かつ非特異的な症状を呈した非痙攣性てんかん重積状態 (NCSE) の1例 扇町老年疾患臨床懇話会夏季レジデントセミナー 2016/8/6 (大阪)

論文

- 1 Yoritaka A, Abe T, Ohtsuka C, Maeda T, Hirayama M, Watanabe H, Saiki H, Oyama G, Fukae J, Shimo Y, Hatano T, Kawajiri S, Okuma Y, Machida Y, Miwa H, Suzuki C, Kazama A, Tomiyama M, Kihara T, Hirasawa M, Shimura H, Hattori N. A randomized double-blind multi-center trial of hydrogen water for Parkinson's disease: protocol and baseline characteristics. *BMC Neurol.* 2016 May 12;16:66.
- 2 Yoritaka A, Abe T, Ohtsuka C, Maeda T, Hirayama M, Watanabe H, Saiki H, Oyama G, Fukae J, Shimo Y, Hatano T, Kawajiri S, Okuma Y, Machida Y, Miwa H, Suzuki C, Kazama A, Tomiyama M, Kihara T, Hirasawa M, Shimura H, Hattori N. Erratum to: A randomized double-blind multi-center trial of hydrogen water for Parkinson's disease: protocol and baseline characteristics. *BMC Neurol.* 2017 Feb 20;17(1):35.
- 3 齋木英資 パーキンソン病の外科的治療 ディサースリア臨床研究 4(1) 25-30, 2014
- 4 齋木英資 パーキンソン病新薬紹介 ニュープロパッチ 脳 21 19(4) 402-407, 2016
- 5 戸田弘紀、齋木英資、吉岡千波、藤本心祐、上田敬太 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の認知機能への影響 *Dementia Japan* 30(2) 236-244 2016
- 6 齋木英資、前田哲也 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の位置づけ STN-DBS は顕著なオフの改善と薬の肩代わり効果、GPi-DBS はオフの改善と直接的なジスキネジア抑制効果を持つ(Q&A) *日本医事新報* 4805 58-59
- 7 平野成樹、齋木英資 パーキンソン病での画像診断の位置づけ・臨床的意義 臨床型の判断・診断精度・病態の説明に有効(Q&A) *日本医事新報* 4810 54-55
- 8 齋木英資 STN-DBS を導入する際の適応判断は？ 高橋良輔監修、大江田知子、金子 鋭、齋木英資、澤本伸克、高橋牧郎、山門穂高編集、エキスパートに学ぶ パーキンソン病・パーキンソニズム Q& A、東京：南山堂；2017, 163-171
- 9 齋木英資 衝動制御障害を有する症例での STN-DBS の適応判断は？ 高橋良輔監修、大江田知子、金子鋭、齋木英資、澤本伸克、高橋牧郎、山門穂高編集、エキスパートに学ぶ パーキンソン病・パーキンソニズム Q& A、東京：南山堂；2017, 172-178
- 10 齋木英資 GPi-DBS を導入する際の適応判断は？ 高橋良輔監修、大江田知子、金子 鋭、齋木英資、澤本伸克、高橋牧郎 山門穂高編集、エキスパートに学ぶ パーキンソン病・パーキンソニズム Q& A、東京：南山堂；2017, 179-183
- 11 齋木英資 DBS のターゲットを決定するためには？ 高橋良輔監修、大江田知子、金子 鋭、齋木英資、澤本伸克、高橋牧郎、山門穂高編集、エキスパートに学ぶ パーキンソン病・パーキンソニズム Q& A、東京：南山堂；2017, 184-188
- 12 Komatsu K, Ozaki A, Iwasaki K, Matsumoto S Bilateral Vertebral Artery Aneurysms at the Atlantoaxial Joint Level Causing Recurrent Stroke *Intern Med* 2016;55:3365-3368.
- 13 Toda H, Saiki H, Nishida N, Iwasaki K. Update on Deep Brain Stimulation for Dyskinesia and Dystonia: A Literature Review. *Neurol Med Chir (Tokyo).* 2016 May 15;56(5):236-48.